

市長定例記者会見

日 時：8月26日(金) 午後1時30分～2時

場 所：本庁舎特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長、山田副市長

報道機関 中日新聞、朝日新聞、読売新聞、中部経済新聞

本日の案件は3つです。

1 番目は「商業施設等でマイナンバーカードの出張申請サポートを実施します」です。マイナンバーカードの交付率は、7月末時点での国全体で約46%、一宮市は約3ポイント下回っていますので、取得率の向上を図るため、特設窓口を設けて申請サポートを実施します。1カ所目が尾張一宮駅前ビル(i-ビル)です。平日の帰宅時間帯を中心に、9月5日から12日からの週に実施します。2カ所目は商業施設で、競輪場跡地に新しくできたビバホーム一宮様、3カ所目は各公民館です。公民館ではすでに先週から実施していますが、9月も引き続き実施してまいります。交付カード申請書がなくても申請可能です。9月末までに申請していただければ、国のマイナポイント制度の対象となりますので、この機会にぜひ申請していただきたいと思います。

2 番目は「緑化推進に係る条例(素案)に対する意見を募集!」です。一宮市では高速道路や橋など、さまざまなインフラの整備案件があり開発が進んでいます。街の開発と緑豊かな都市環境を両立していくために、条例の素案を作成しパブリックコメントにかけます。条例の主な概要の一つ目は、緑の保全です。その中で一宮市独自の取り組みとして、営利企業が商業施設を作る場合であっても、その一部を市民緑地として市民に開放されるのであれば固定資産税を減額するものです。二つ目は、緑の創出です。3,000㎡以上の建築行為は緑化義務の対象となり、開発用途ごとに定められた緑化率で緑を用意していただくというものです。大規模な開発になればなるほど、緑化面積を多くしていただく必要があります。ここに一宮市は特例として、健康で文化的な市民生活に寄与するものは、緑以外でも緑化面積に算入できるよう素案に盛り込みました。例としては芸術ですが、緑化と同一視できる芸術であると判断するための細やかなルール作りが、現時点でも必要だと考えています。パブリックコメントで、市民の皆さまから広くご意見をお寄せいただけることを期待します。今後の目標として、12月議会に条例案を上程し令和5年4月から施行することで、よりグリーンな開発ができることを期待しています。

3 番目は「令和4年度9月補正予算(案)に計上された主な事業」です。

No.1「給食費の無償化事業」

保育園の給食費を、市立だけでなく私立についても無償にします。さらに小・中学校の給食費も無償にします。期間は2カ月間です。

No.2「一宮市新生児特別給付金事業」

子育て世帯の支援として、昨年末から今年にかけて10万円の給付支援を行いました。

今年度も引き続き、4月以降に生まれた新生児に対し、1人あたり5万円の給付を行います。

No.3「自治体DXの推進」

・市民課窓口のメール等呼び出しサービスの導入

市民課窓口で、手続き時のメール呼び出しサービスを導入します。窓口の混雑時は車の中等で待ちたいといった意見もありますので、メール等で順番が近づいたことを知らせる機能を追加します。

・公立保育園ICTシステムの導入

登園・退園時や延長保育等の保護者との連絡を、電子連絡帳を使って行います。まず6園でテスト導入し、状況を見て令和5年度から本格導入していきたいと考えています。

・総合体育館トレーニングルーム 顔認証システムの導入

総合体育館のトレーニングルームを利用する際、顔認証システムに登録していただき、手続きの簡易化と非接触化を実現します。デジタルの利便性を実感していただきながら、新しい施設マネジメントの実証実験を行ってまいります。

・小中学校 校内緊急連絡システムの導入

校内のネットワーク環境を利用して内線通話ができるシステムを試験的に導入します。先行して小中学校それぞれ各1校に導入します。

・学校徴収金管理システム

毎月、保護者から郵貯口座に振り込まれた給食費・教材費・修学旅行積立金等の確認方法を改め、システム処理できるようにします。最終的にすべての小中学校での導入を目指しますが、まず小中学校それぞれ各1校で検証を行います。

No.4「ロボット等導入推進モデル事業」

福祉分野では、デジタルの利用により効率的・合理的になる部分があり、さまざまな取り組みが進んでいます。これらのデジタルを活用する障害者入所施設等に、導入費用を補助します。

No.5「原油価格・物価高騰対策事業」

障害福祉サービス事業者の送迎サービス、し尿・浄化槽汚泥運搬、ごみ・資源回収運搬の事業者、タクシー事業者に原油高騰分に相当する額の一部を支援します。

No.6「水道基本料金減免事業」

水道の基本料金を4カ月分免除します。

No.7「第6回街道交流会の開催」

東海道や中山道で実施されているイベントです。県に予算の半分を支援していただき、美濃路をテーマに来年2月に交流会を実施します。

No.8「医療過誤に係る損害賠償金」

手術中の薬品の過剰な投与が原因とみられる医療過誤により、患者さんがお亡くなりになったことへの損害賠償金として計上します。

以上、本日の説明でございます。

質疑応答の概要

■ タクシー事業者の運行維持に係る経費の支援

(記者) 燃油価格高騰分を全額補填するのですか？

(担当) 各事業者に対し価格高騰分の一部を補助します。

(記者) 対象となるのは本社が一宮市内にある事業者ですか？それとも事業所が一宮市内にある事業者ですか？

(担当) 愛知県タクシー協会に所属し、一宮市内に事業所があることが条件です。5社が対象となります。

■ 世界平和統一家庭連合（旧統一教会）について

(記者) 市長との関わりはありましたか？また、市で寄付を受けたことはありますか？

(市長) 私個人に関しては、行事でのあいさつや講演の実施などは一切ありません。選挙応援も受けた認識は、ありません。市議会議員からの依頼で、メッセージを出したことが1度だけあります。寄付については、市と社会福祉協議会で受けたことを確認しています。

(記者) メッセージを出された時期と相手方は？

(担当) 昨年12月5日にポートメッセ名古屋で行われた「未来創造フェスティバル2021」に出しました。

(記者) そのイベントの主催者の名称は？

(担当) 「未来創造フェスティバル2021実行委員会」です。

(記者) 旧統一教会と関連のある団体だとの認識はありましたか？

(市長) いいえ。ありませんでした。もし分かっていたらメッセージは出していません。

(記者) 「未来創造フェスティバル2021実行委員会」が関連団体と分かったのはなぜですか？

(担当) 依頼を行った市議会議員から連絡を受け、調査した結果分かりました。

(記者) 市と社会福祉協議会が受けた寄付の時期と相手方は？

(担当) 市では令和3年4月13日、「世界平和統一家庭連合一宮家庭教会」から、いちのみや応援寄付金に寄付を受けました。社会福祉協議会では、同じ団体から令和2年10月と令和3年12月に寄付を受けました。

(記者) 寄付の趣旨はどのようなものでしたか？

(担当) 市のいちのみや応援寄付金については、公表していません。社会福祉協議会については、団体の「バザーの収益金」を「社会福祉のため」として受けました。

(記者) 寄付額は公表しないのですか？

(市長) 寄付を受ける際は「名前は一切出さないで欲しい」など様々な意向がありますので、寄付者のお考えを尊重し、その都度確認しています。今の時点で、寄付者の意向を無視して公表するのは拙速だと思いますので、連絡を取る努力を続けています。

(担当) 電話連絡していますが、連絡は取れていません。

(記者) 市と市長個人として、今後は関わりを持たないということよろしいでしょうか？

(市長) はい、もちろんです。